

令和4年7月1日（金）



本日、第1回の民生委員・児童委員と語る会を開催することができました。昨年度の第1回は西部地区公民館、中津川地区公民館に校長と教頭が出向き、第2回に学校にお招きしての語る会を計画しておりましたが、新型コロナの感染状況により叶いませんでした。2年ぶりにご来校いただき、3・4年複式の国語の授業と5・6年複式の算数の授業を短時間ででしたが通覧していただくことができました。

通覧後、西部地区代表の方からは、「肌で感じさせながら、子供の感性を育ててほしい。生活しにくい環境になってきた日本。たくましく生きる力を育ててほしい。」といった内容のご挨拶を頂きました。中津川地区代表の方からは、「2年間本会を実施できなかった。授業が見られてよかった。勉強に運動に子どもたちには頑張ってもらいたい。子どもが少なくなり、先行きが不安。」といった内容のご挨拶を頂きました。

校長からは、コロナ禍による子どもたちの自然体験・生活体験等の直接体験不足を軽減するために、毎週水曜日に地域の方にご協力いただきながら行っている「わくわく3KEN広場」についてや、地域の観光資源や教育資源を活用した行事の見直しにより、中津川地区で宿泊体験学習を行ったり、宇津峠に全校遠足に行ったりしたこと、10月22日（土）の西部地区・中津川地区両公民館の文化祭でのクラブ活動発表に向けて、花笠踊りに取り組んでいることなどを説明しました。

その後、地域における子どもの状況について様々な情報を頂くことができ、短時間ですが有意義な会となりました。第2回は西部地区公民館、中津川地区公民館に校長と教頭がお邪魔いたします。

令和4年7月6日(水)



本日、飯豊町立第一小学校のグラウンドで、飯豊町教育委員会が町内小学5・6年生を対象とした陸上教室を主催していただきました。

講師は、元山形中央高等学校陸上部の顧問で、現在、山形県教育庁競技力向上アスリート推進室の指導主事でいらっしゃる、飯豊町ご出身の先生です。

先生からは、いいフォームで走るには、とにかく「姿勢が大事だ」ということを教えていただきました。子どもたちは、「キャット&ドッグ」という姿勢を体験することで、猫背にならずに骨盤を立てた姿勢で走ることの大切さを学びました。

また、先生からは、スーパーボールをイメージして足首で「はねる」動作や、その際、地面に足が着く瞬間に手で勢いをつけるコツなどを教えていただきました。

その後、子どもたちは、腕を90度くらいに曲げた方が速く動かせるし、腕を前に振ることで体を前に引っ張ることができることを体験的に学んでいました。

今年度、飯豊町小学校陸上大会は9月21日(水)に同会場で開催され、選択種目である走り高跳び、走り幅跳び、持久走、50Mハードル、ジャベリックボール投げが3年ぶりに行われる予定です。5・6年生には、大会に向けた練習をとおして、技能と体力の向上はもちろんのこと、自分の目標に向けてあきらめずに努力することの大切さを学んでほしいと思います。

**令和4年7月12日（火）**



本日、3・4年生が白川ダム一日管理所長を体験してきました。ダム管理の一端を体験するとともに、関連施設の見学を通して、ダムの役割や水の大切さを再認識してもらおうというテーマの下、白川ダム管理支所長様をはじめとするたくさんの所員の方々にお世話になりました。

はじめに、管理所長任命式の中で、管理支所長様から代表児童に一日管理所長としての任命書を手交していただきました。

管理支所長様からは、引き続き、羽越水害やダム事業について説明していただきました。白川ダムには、①洪水を防ぐ、②川の環境を守る、③農業用水を送る、④工業用水の確保、⑤水道水の供給、⑥電気を作るという6つの役割があるということを知りやすく教えていただきました。

その後、あいにくの雨模様でしたが、子どもたちは雨合羽を着用して船で貯水池を巡視したり、ダムの監査廊（ダム堤体の内部に設けられた点検や観測のため通路）を歩いて巡視したり、機械設備を点検したりして、ダム事業について体験的に学ぶことができました。

令和4年7月22日（金）



本日、今年度の水泳学習のまとめとして、「スイミングフェスタ」を行いました。平日でしかも雨天にもかかわらず、たくさんのお家の方に応援していただきました。

昨年度までは、夏休みのプール開放を経て、2学期に入ってからすぐにプール納会を行っていましたが、プールの老朽化に伴い、夏季休業中の水位の保持と水質の維持管理の負担が年々大きくなっていました。また、今年度は職員の減少により、夏休みのプール開放時に町や地区の研修会が重なると、職員がプールに常駐しての管理体制が困難になってしまいます。

このような状況を第2回のPTA総務委員会で役員の皆様に相談し、水泳学習を1学期中に済ませ、夏休みの手ノ子小プールの開放を8月第1週までの4回とさせていただくことにしました。また、町教育委員会と校長会にも相談し、8月第2週以降は、町民プールの使用割当（添川小と一緒に）を4回加えていただき、学校発のスクールバスも配車していただくことができました。

統計上最も早く梅雨明けした6月29日（水）のプール開きにはじまり、全校で11時間の水泳学習に取り組んできました。7月に入ってからほとんど曇り空の下での水泳学習でしたが、4年生は全員25m以上泳げるようになり、中には100mに挑戦し、見事泳ぎ切った子どももいました。新型コロナの影響で1年生時に水遊びを経験できなかった3年生も、1人は50m、2人は補助具をつけて25mを泳ぎ切ることができました。5・6年生は100mのクロールや平泳ぎに挑戦したり、50mの背泳ぎに挑戦したりと、距離や種目を増やして挑戦することができました。

水泳学習の大きな目標は、「水の中でも、陸上と同じように呼吸をして、平気で動けるようになることで、自分の命を守ること」です。学習は1学期で終了しますが、海や川で遊ぶ機会が増えるのは夏休みを迎えるこれからです。今年度の成果を活用して、安全に楽しく遊んでほしいと思います。さらに、来年度の水泳学習に向けて新たなめあてを持ち、手ノ子小プールや町民プールでたくさん泳いでほしいと思います。

令和4年7月27日（水）



1学期75日間の学校生活を終え、本日27日（水）に終業式を迎えました。1学期を振り返ると、新型コロナウイルスの感染状況が次第に収まっていく中、基本的な感染防止対策を施しながら、ほぼ予定どおりの教育活動を進めることができました。子どもたちの健やかな成長のために、保護者・地域の皆様から、物心両面で温かいご支援を頂戴いたしましたこと、改めて感謝申し上げます。

校長の話では、始業式で話した学校の合言葉「あ・い・う・え・お」の頑張りの姿をスライドにして紹介しました。

【あ】あきらめない…

読書まつりの取組、持久走大会に向けた取組、チャレンジタイムの取組、スイミングフェスタに向けた取

組などをおして、勉強、運動などの目標・めあてを持ち、ねばり強く取り組むことができたこと。勉強面で特にながらぶしたのは、「考える力」をつけることで、相手に分かりやすく伝えるためICTを活用して情報を編集することで「考える力」がついたこと。また、複式の算数授業を自分たちで進められるようになってきたこと。

【い】いのちを大切に…

毎日の感染症対策、毎週月曜日のさわやかチェック、はつらつがんばり週間（持久走大会前）の取組により、新型コロナに負けないように、明るく元気に生活できたこと。

【う】美しい心…

5・6年宿泊体験学習（農家民宿・白川ダム湖・源流の森）、全校遠足 宇津峠（旧街道探訪）、わくわく3KEN（健・賢・研）広場②～⑨をおして、手ノ子・高峰・中津川の美しい自然と、そこに住む地域の方々とたくさんふれ合えたこと。

【え】笑顔であいさつ・【お】思いやり…

児童会目標の「POWER 協力 努力 全力」～15人で最高の学校を！！～の下、全校会議や代表委員会、委員会活動、縦割り清掃などをおして、相手のことを考えて、優しい言葉で話したり、行動したりして、笑顔いっぱいにしてきたこと。

さらに、アンデシュ・ハンセン著「スマホ脳」の内容をもとに、夏休み中の過ごし方としてメディア漬けにならないように気を付け、暑さに負けない工夫で運動習慣を身に付けてほしいということをお話しました。